

会員の ひろば

北海道医報では、特定の個人・団体を誹謗、中傷する内容等を除いた幅広い多様性のあるご意見を掲載させていただいております。

コロナ禍に想う

上川北部医師会
士別市立病院

ながしま
長島 ひとし
仁

士別市立病院は一昨年まで7年連続で黒字を計上した。大げさに言うと開院以来60年ほど続いた赤字体質から7年連続黒字を計上したとも言える。まさに“崖っぷち”からの脱出が図れてきていると考えている。また黒字を計上しているだけでなく、士別市から毎年いただく繰入金（補助金）も5億円ほど減らしてきており、士別市の財政に非常に良い影響を与えており、大変に感謝をされている。

それが昨年度（2022年度）、とうとう8年ぶりに赤字を計上してしまった。その原因は新型コロナと関係があることは間違いない。昨年度に当院はコロナ禍が始まって以来初めて、院内クラスターを経験した。それも4度もだ（①8/21～9/8に患者22名、職員5名②11/2～11/13患者7名、職員2名、③1/26～2/26患者23名、職員10名、④3/7～4/2患者25名、職員5名）。そして本当につらいのは院内クラスターが収まっても入院数が完全には元に戻ってこないことだ。そのために入院患者数が減ってしまい、とうとう赤字を計上したということである。

私にとっては院長になって初めて経験する赤字であり、かなり深く落ち込んだ。事務幹部たちは、仕方がないことだから気にするな、と慰めを言ってくれるが私にとっては大きな衝撃だ。

コロナの影響は私にとってはそのように悪いものが多いが、良かったと思うこともある。コロナ禍が始まった当初、職員たちはできればコロナの入院を受けなくて済むのなら、受けない方がよいという雰囲気だったが、広い士別市に1か所しかない病院として、コロナに感染し、入院せざるを得なくなった市民をとにかく頑張って診療しようという雰囲気は徐々に変わっていったのだ。

考えてみると、私が士別市立病院に副院長として

着任した12年前に、業務内容についての苦情ばかりが看護部から上がってくるような傾向があり、私はその当時の看護部長に「あなたたち看護集団の顔はどっちを向いている？ 患者さんたちの方に向いているか？ 業務内容の方に向いているのではないか？」と大変失礼なことを言ったことを覚えている。あの頃と比べてみると経営改善のための病棟再編、運営方針の転換を彼らは経験し、ともに苦勞する中で、集団としての意識がかなり変わってきたと思う。患者・市民のために私たちは医療を行うという意識が強くなってきたと感じる。そして今回のコロナ禍はその意識をさらに強固なものとしてくれているように思う。

話は少し変わるがその当時の看護部長とは、何度も大喧嘩をしてきた。彼女は看護師たちを守るためにいるわけだから、より少ない看護師数でより多くの仕事をこなしてくれと頼む私と仲良くやれるはずはない。しかし、今振り返って、頻回に行った病棟再編が何とかうまくいったのは、やはり看護部長をはじめとする看護部の職員の力が大きいと考えている。やはり感謝をしているし、今後も看護部に頑張っていただかねばとも思っている。

前述のように院内クラスターが発生するようになってからは、入院せざるを得なくなった市民をとにかく頑張って診療しようという意識がさらに強まり、最終的には普段、緊急入院をあまり受けない療養病棟でも陰圧キットを取り付けて、コロナ患者の診療をしてくれた。たくさんの職員がコロナ陽性になったり、濃厚接触者になったりして、職場の人員確保が大変になった時期がかなりあったが、職員たちはとんでもなくたくさんの苦勞を抱えてくれた。本当にありがたく、頭が下がるばかりだ。

コロナ禍になって飲み会などの仕事以外で職員たちが交流する場が殆どなくなってしまい、ガス抜きや意思統一の機会が非常に少なくなってしまったが、皆でなんとか乗り越えようという意識はコロナ前にはなかったレベルまで高まっていると思う。それはコロナ禍になって当院が獲得したものの一つである。また、コロナ禍の影響で必要看護師数の確保が困難となり、昨年度末に2つある慢性期病棟のうちの1つを休止にした。そして、かなりの数の職員の働く部署が変わったが、たくさんの職員が今までと違う部署で違う同僚と働くこととなり、その新鮮さの影響もあり、職員たちの「ともに頑張ろう」という共感がさらに強まってきている気がする。職員たちは、まさに苦勞を通して集団としての能力を高めてきたのだと思う。

そのように考えてくると、私はコロナ禍の影響を経営的に悪い面ばかり考えるのではなく、職員たちそして病院全体に与えた良い面もきちんと捉えるようにしなければならないと思う。転んでただ立ち上がるのではなく“石”を拾って立ち上がろう、それも“価値のある石”を拾って立ち上がろう、そんなことをこの酷暑の夏に考えている。